

令和元年に実施した9カテゴリーに基づく自己点検自己評価結果および学院の状況を踏まえ、令和2年の重点課題を以下とした。

《9カテゴリー》

I	教育理念・教育目的	II	教育目標	III	教育課程経営
IV	教授・学習・評価過程	V	経営・管理過程	VI	入学
VII	卒業・就職・進学	VIII	地域社会・国際交流	IX	研究

【重点課題】

課題1. カテゴリーIII. 教育課程経営

下位カテゴリー〈教員の教育・研究活動の充実〉

- ① 教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している。
- ② 教員が授業準備のための時間がとれる体制を整える。
- ③ 教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽システムを整えている。
- ④ 教員が相互に成長できるよう、相互研鑽システムを整えている。

課題2. カテゴリーI. 教育理念・教育目的、II. 教育目標、III. 教育課程経営

新カリキュラムに向けた教育理念および社会・地域のニーズに沿ったカリキュラム構築

【対策】

課題1：教員の教育・研究活動の充実

- 1) 専任教員ラダーの計画・実施・評価
- 2) 実習指導教員の採用・活用
- 3) 研究的取り組みによる成果発表

課題2：新カリキュラム構築

- 1) カリキュラム委員会の定期的開催
- 2) カリキュラム研修参加支援

【結果】

課題1の1)：新型コロナ感染拡大に伴い、当年カリキュラムの計画や方法変更等緊急課題取り組みが優先となった。計画していた研修・学会中止等もあり、専任教員ラダーの実施はR3年度課題となった。

課題1の2)：実習指導教員4名（看護学科2名・助産学科2名）の採用ができた。

実習・演習への協力が得られた。このことにより、教員の教育活動（緊急対応含）の時間が一定程度確保できた。実習指導教員採用計画があったことにより、緊急対応も可能となった。

課題1の3)：合同臨床指導者会（8月/毎年）の経過をまとめ看護教育関連の雑誌に応募した。採用未確定。

課題2の1)：8回/年の定期開催を実施。

不定期開催となったが全教員間で十分な検討ができた。このことで、教育理念・目的・目標の深い理解、また新カリキュラムに向けた方向性の一致が図れた。

課題2の2)：全教員が何らかの研修会に参加した。また、学院より費用・時間確保等の支援を受けることができた。

【外部からの評価】

学校運営・教育について現行を支持する。今後更に地域社会への貢献、教育力向上への取り組みを期待する。

【残された課題】

専任教員ラダーの実施および新カリキュラム完成

